

# 看護いばらき



公益社団法人  
茨城県看護協会  
Ibaraki Nursing Association

No.139

令和5年1月26日



topics

## (新企画)「突撃11月11日のお昼ご飯 これが私のリアル飯」

- P 2…新年のあいさつ
- P 3…令和5年度茨城県予算要望・政策に関する要望書を提出いたしました
- P 3…茨城県議会保健福祉医療委員会県内調査が行われました
- P 4～5…「ジェネラリスト育成プログラム」を取材しました
- P 6～7…令和3年度 看護職員の新型コロナウイルス感染症対応に  
関する実態調査結果報告【看護労働改善事業委員会】
- P 8…突撃11月11日のお昼ご飯 これが私のリアル飯
- P 9…仕事をしていて、心に残った一言
- P 9…いばらき看護職合同進学・就職説明会が開催されます
- P10…准看護師に関する実態調査報告
- P11…令和5年度改選役員、推薦委員及び令和6年度日本看護協会代議員・  
予備代議員への立候補について
- P12…理事会報告・株式会社 日東様・株式会社 常陽銀行様より寄附金を  
いただきました・編集後記

### 会員数

(令和5年1月18日現在)

合計	15,994名
保健師	363名
助産師	593名
看護師	14,091名
准看護師	947名

新年あけましておめでとうございます

# 『新しい年を迎えて』

公益社団法人茨城県看護協会

会長 白川 洋子



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、日頃から本会の事業及び運営につきまして、ご支援とご協力を賜り御礼申し上げます。併せて、長引く新型コロナウイルス感染症に対し、保健・医療・福祉のあらゆる場所において、尽力されているすべての看護職員の皆様に敬意を表し、心より感謝を申し上げます。

世界に目を向けますと、ロシアのウクライナへの侵攻による連日の報道を目にすると本当に胸が痛みます。1日も早い平和の到来を願うばかりです。

さて、今般の新型コロナウイルス感染症「第7波」では、かつてないスピードで感染が急拡大し、医療現場は救急搬送患者の受入れや入院の制限を行う等、ひっ迫した状況となりました。本会といたしましては、このような状況下においても、最前線で懸命に県民の命を守り続けている看護職員の職場環境、待遇等の改善につきましては、県内の医療提供体制を現在そして将来にわたって確保・維持する観点からも、早急に対応すべき重要な事項と考えております。

2022年10月より、診療報酬によって看護職員の収入を3%程度引き上げるための措置として、「看護職員処遇改善評価料」が新設されました。まずは「看護職員処遇改善評価料」が全対象医療機関で算定されることが、今後のすべての看護職員の処遇改善に向けた第一歩となります。「看護職員処遇改善評価料」が確実に看護職員に行き渡り、看護職員の業務の内容や責任の重さに見合った賃金体系の見直しによる、処遇改善が図られるよう日本看護協会とともに後押ししていきたいと思っております。

また、このコロナ禍において、職員のメンタル不全が増加し、離職にもつながっているケースが報告されております。その中で看護管理者

は、職場内の相談窓口としての役割を担っているケースが多く、メンタルヘルス相談対応以外に勤務シフト調整、行政との連絡調整等、コロナ対応で看護管理者自身が疲弊してしまっている現状があります。ナースセンターに相談窓口を設置してありますので、ぜひ、活用していただければと思います。

本会では、今年度、重点事業として掲げておりました、県内で働く准看護師及び看護補助者に関するの実態調査を行いました。

准看護師の調査結果を見ますと、「看護師との役割分担・業務範囲が明確になっていない」「看護師と賃金等の格差がある」といった意見が多く見られ、また、看護補助者につきましては、同じ介護職でも病院で働く看護補助者は、介護系施設・事業所との業務とは異なり、重症度の高い患者や終末期の患者に接することが多く、負担感や重圧を抱えながら業務にあたっている背景が浮き彫りになりました。

准看護師も看護補助者もチーム医療を推進していくためには、重要な役割を担っていることから、今回の調査結果をふまえ、行政、他関連団体等への政策要望活動を積極的に行っていきたいと考えております。

最後に、新型コロナウイルス感染症対応、ウクライナ情勢等によるエネルギー資源の高騰や物価高騰も含め、今後、事態がどのような方向に向かうのか推測が難しい特異な時代となっておりますが、この置かれた状況の中で最善を尽くすべきことには変わりはないものであります。

本会といたしましても、専門職能団体として皆様のお役に立てられるよう努めていく所存でございますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

本年も皆様にとり実りある年でありますようご祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 令和5年度茨城県予算要望・政策に関する要望書を提出いたしました

令和4年12月7日（水）に茨城県保健医療部長室において「令和5年度茨城県予算要望・政策に関する要望書」を白川会長より森川茨城県保健医療部長へ提出いたしました。



## ■要望項目

### 1 新型コロナウイルス感染症等健康危機管理体制の強化

- 1) 県民への感染予防対策・検査体制等についての情報発信の強化
- 2) 在宅・介護施設等における感染予防対策支援の継続・強化
- 3) 保健所の体制強化
- 4) 自然災害及びパンデミック複合型災害発生時に備えた支援体制の構築

### 2 持続可能な医療提供体制の構築

- 1) 特定行為研修修了者等専門知識を有する看護職の活用促進
- 2) 医療機関内で患者の生活を補助する者（介護業務含む）の確保・教育体制構築支援の強化
- 3) 周産期医療体制の充実
- 4) 第8次医療計画、地域医療構想等検討の場への看護職の参画

### 3 看護職の確保・定着促進及び質の向上

- 1) 新人看護職員研修事業の継続・強化
- 2) 准看護師の就学支援
- 3) 看護師等養成機関への支援の充実
- 4) 看護師基礎教育の4年制化についての検討

### 4 地域包括ケアシステムの深化・推進

- 1) 訪問看護総合支援事業の制度化
- 2) 地域包括支援センター機能の強化支援及び住民主体の介護予防活動の推進
- 3) 医療的ケア児の教育体制確保のための幼稚園・学校等における看護職の配置の推進及び教育体制の構築
- 4) 5歳児健診の全県的な推進及びフォロー体制の整備推進
- 5) メンタルヘルス対策の強化
- 6) 母子のための地域包括ケア病棟

# 茨城県議会保健福祉医療委員会 県内調査が行われました

茨城県議会には6つの常任委員会があり、各常任委員会では、よりよい審議を行っていくため、県内各所で調査活動を行っています。

令和4年の保健福祉医療委員会（川口政弥委員長）の重点審査テーマは「医療・福祉分野における人材確保等対策」ということで、今回、本会が調査対象となり、令和4年10月13日に茨城県議事堂特別委員会室2において、調査が行われました。

本会より「コロナ禍での看護人材確保・定着について」及び「看護人材の質向上及び養成について」について、保健福祉医療委員の皆様へ説明をし、保健福祉医療委員の皆様と意見交換を行いました。

## ◆主な内容

- 県内離職率・退職理由について
- 看護学生の実習時間について
- 潜在看護職の職場復帰支援について
- 看護学生の実習場所の確保について
- 訪問看護師の確保・養成について
- 看護補助者について



# 「ジェネラリスト育成プログラム」を取材しました

◆令和4年10月10日開催 於：看護研修センター

## 「臨床看護における倫理的ジレンマに向き合うためにできること」 ～ケアリング理論の活用～

講師：筑波大学附属病院 緩和ケアセンター がん看護専門看護師  
風間 郁子 先生

茨城県看護協会では、今年度より、ジェネラリスト育成プログラムが開催されています。看護職には、医療、看護を取り巻く状況の複雑化、多様化するニーズに対して、看護職が様々な場で専門職としてその能力や役割を発揮していけるようキャリアに応じた継続教育が必要となります。

このプログラムは、急性期慢性期領域の高度看護実践能力の育成と専門職業人としてのキャリア（関心性、自律性、計画性）の成熟を期待し、自ら考え行動できる専門職としての自覚に立ち、看護の専門性を十分に発揮し、安定的で質を確保した看護の提供を実現していくことを目的としており、計9日間の受講となります。

今回は倫理的ジレンマとケアリングについての研修を取材しました。

### 【研修の目的】

日々の看護で直面する倫理的ジレンマに向き合うための1つのエッセンスとしてケアリングについて学んでほしいと思います。



講師：風間 郁子 先生  
(がん看護専門看護師)

### 講義のポイント

倫理的問題を考えるときは

- ①原則原理による状況の分析や整理
- ②ケアリングを通じた患者の心理社会面の理解を踏まえた看護師としての道徳的価値観による判断の2つの側面の視点から、患者の最善が何かを熟考して行動することが大切です。



## どうして受講しようと思ったのか動機をきかせてください

- 自施設での倫理について、また自分の考える倫理は正しいのか、何かしらのヒントが欲しかったため受講したいと思い参加しました。
- 自身のキャリアアップのため参加しました。
- 倫理委員会に所属しており倫理について指導するために自己研鑽目的で参加しました。

## 受講した方の感想

- 初めは少し難しい内容かと思っていたのですが、事例検討を重ね自身の考えをまとめたり、他の人の意見を聞いて、普段心に生じるモヤモヤはこうして生まれているんだと気づくことができました。カンファレンスや終末期の方と関わる場面で本日の学びを活かしていきたいと思います。
- 日々、ジレンマばかり感じています。価値観の違い、医師の倫理、他者の考え方に気づけるよう今日の研修を活用していきたいです。グループワークでのみんなの価値観、考え方の違いが分かりとても面白かったです。



- 倫理は苦手意識が強かった倫理原則に当てはめてもスッキリしないまま、時間がかかってしまいこじつけで終わりにしていた。臨床の場で、また倫理的感受性を磨いて倫理的ジレンマに向き合っていきたいと思いました。
- 日々の業務ではいつも倫理的ジレンマの連続です。そこで解決に向けて色々な客観的情報や背景から判断し導き出せるように活かしていこうと思います。
- 学生や新人時代とは違った目線で学ぶ事ができた。今後は初心を忘れず今回の学びを部署内で共有し倫理的感受性を高め、臨床に臨みたい。

## 風間先生から皆さんへのメッセージ

- 「なんかおかしいな」、「もやもやするな」という、ひっかかりのアンテナ(倫理的感受性)を磨きましょう。
- ひっかかったことを言葉にしてつぶやきましょう。
- 一人ひとりがそれぞれ考え、思い、とらえ方が違います。それを話し合って突き詰めていくことが大切です。チームメンバーとひっかかりについて話す習慣をつけましょう。
- 自分の価値観が看護判断、ケアに影響していることを自覚して患者に関わりましょう。



# 令和3年度 看護職員の新型コロナウイルス感染症対応に関する実態調査結果報告

令和4年12月21日  
看護労働改善事業委員会

茨城県看護協会看護労働改善事業につきましては、日頃よりご協力賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が発生、感染拡大に伴い、看護職員の労働環境の悪化、看護職員への差別・偏見の発生等、近年看護界が経験したことの無い事態が発生しました。このような事態のなか、現在も各医療機関や施設では対応が続けられていることと思います。感染症の拡大・まん延の長期化の中、医療現場で献身的に働かれている皆様に心から感謝と敬意を申し上げます。さて、当委員会では、看護の職能団体として、看護職員が安全・安心に働き、国民の健康・福祉に貢献できるような体制整備に向けた情報発信を目的に「新型コロナウイルス感染症対応に関する実態調査」を実施したので報告します。

## <調査概要>

調査対象：茨城県内の病院、訪問看護ステーション 375 施設に勤務する看護管理者および看護職員

調査期間：令和4年1月28日（金）～令和4年2月28日（月）

調査内容：日本看護協会が実施した新型コロナ感染症対応に関する調査項目を参考に作成

調査方法：Google フォームを活用した Web アンケート調査（無記名）

回収率：看護管理者 87 件 / 339 件（25.7%）、看護職員 954 件 / 15392 件（6.2%）、訪問看護ステーション 52 件 / 190 件（27.4%）

## <調査結果>

### ●看護管理者

#### 1. 設置主体について

「医療法人」46 件（52.9%）、「公的医療機関（日本赤十字社・済生会・厚生連）」14 件（16.1%）、「その他（公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人）」12 件（13.8%）、「県・市町村・地方独立行政法人」9 件（10.3%）等

#### 2. 病床数について

「99 床以下」22 件（25.3%）、「100-199 床」35 件（40.2%）、「200-299 床」11 件（12.6%）、「300-399」11 件（12.6%）、「400-499 床」5 件（5.7%）、「500 床以上」3 件（3.4%）

#### 3. 病院の感染症対応

「感染症指定医療機関（特定、第一種、第二種、結核含む）」10 件（11.5%）、「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」22 件（25.3%）、「新型コロナウイルス感染症疑い患者受け入れ協力機関」20 件（23%）、「いずれにも当てはまらない」44 件（50.6%）

4～8 は新型コロナウイルス感染症の国内での発生（2020 年 1 月か頃）から、2021 年 10 月の間の状況について

#### 4. 新型コロナウイルス感染症患者以外で、外来・入院患者数への変化について

「あった」61 件（70.1%）が回答。入院患者数「増えた」13 件、「変わらない」22 件、「減った」24 件、外来患者数「増えた」13 件、「変わらない」9 件、「減った」39 件、手術・検査件数「増えた」12 件、「変わらない」14 件、「減った」35 件であった。

#### 5. 新型コロナウイルス感染症患者受け入れについて（n = 87）

「重症患者を受け入れた」10 件（11.5%）、「中等症患者を受け入れた」32 件（36.8%）、「軽症患者を受け入れた」35 件（40.2%）、「感染疑いがある患者の診療検査を行った」53 件（60.9%）、「受け入れはしていない」29 件（33.3%）であった。

#### 5-1. 新型コロナウイルス感染症患者受け入れに際しての看護配置の変更について（n = 34）

「変更があった」34 件（55.8%）が回答。「病床稼働低下に伴う新型コロナウイルス感染症対応への看護配置」12 件（35.3%）、「病棟を閉鎖し新型コロナウイルス患者病棟を作り看護配置」16 件（47.1%）、外来患者の減少に伴い 新型コロナウイルス感染症対応への看護配置」3 件（8.8%）、手術を制限・中止し新型コロナウイルス感染症対応への看護配置」4 件（11.8%）、「病床・外来等閉鎖せず、配置人員を減らし新型コロナウイルス感染症対応への看護配置」9 件（26.5%）、「その他」4 件（11.8%）

## 6. 看護職員の出勤状況への変化について (n = 87)

「変化があった」53件 (60.9%) と回答し、「一部出勤ができなくなった職員がいた」51件 (92%) であった。出勤できなくなった職員の割合については、「10%未満」47件 (88.7%) であった。出勤できなくなった理由については「看護職員自身の感染」31件 (60.8%)、「看護職員の親族の感染」39件 (76.5%)、「感染症患者との濃厚接触」35件 (68.6%)、「臨時休校保育園等の休園」43件 (84.3%)「感染への不安等精神的不調」9件 (17.6%)、「看護職員自身に疾患がある」5件 (9.8%)「看護職員の家族に疾患がある」1件 (2%)、「看護職自身が妊娠中」3件 (5.9%)、「その他」2件 (3.9%) であった。

## 7. 看護職員の配置に不足を感じたことについて (n = 87)

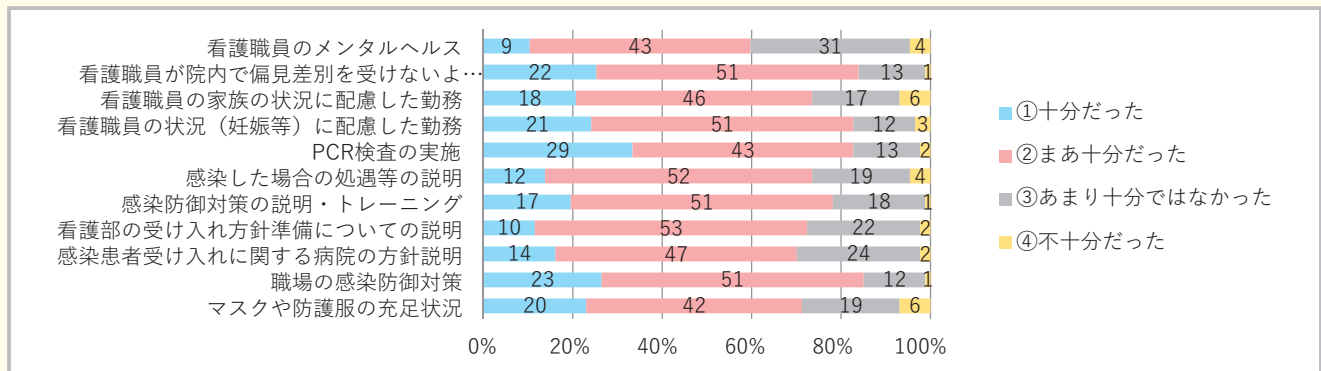
「不足を感じている」59件 (67.8%)、「どちらとも言えない」22件 (25.3%)、「不足を感じていない」6件 (6.9%) であった。

## 8. 新型コロナウイルス感染症の患者 (疑い患者も含む) に対応した看護職員の手当等について (n = 87)

「支給した」51件 (58.6%)、「支給しなかった」21件 (24.1%)、「対応した看護職員はいなかった」15件 (17.2%) であった。「支給した」と回答した施設の支給額日額平均 (21件) で3110円程度であり、1回支給、月学支給、慰労金支給等様々であった。

9は新型コロナウイルス感染症の第5波ピーク時 (2021年8月頃) の状況についての回答

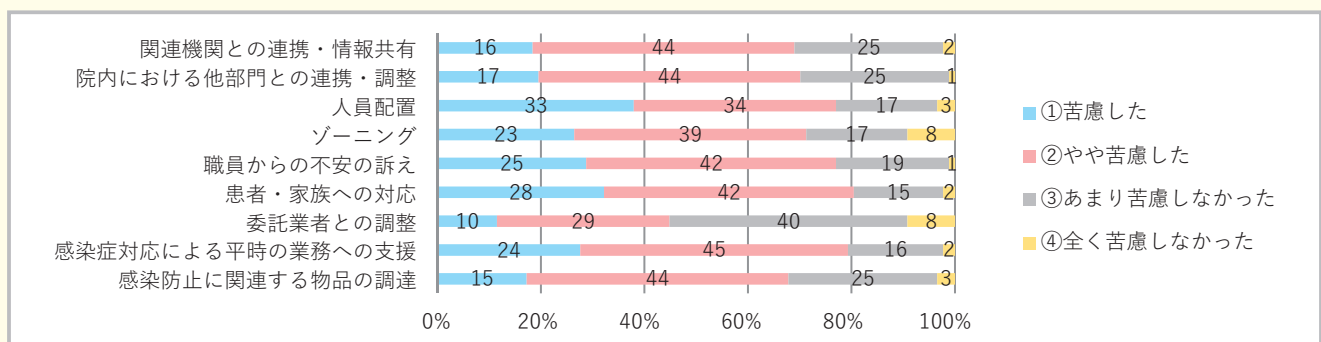
## 9. 看護職員の健康・安全・安心を守る体制について (n = 87)



## 10. 新型コロナウイルス感染症対応による労働環境の変化や感染リスク等を理由にした退職について

「あった」11件 (11.5%) と回答。

## 11. 新型コロナウイルス感染症対応にあたり、看護管理者として苦慮したことについて (n = 87)



## ●まとめ

今回の調査結果から一年が経過し、現在第8波を迎えており、依然終息が見えない状況にあります。一方で、コロナウイルス感染症患者を受け入れる医療機関の拡充がされつつあり、感染症対策についても調査時より整備されてきていると思われます。また、令和4年度の診療報酬改定により10月以降から、新型コロナウイルス感染症医療に関わる医療機関においては看護師職員処遇改善評価料が新設され、一部ではありますが処遇改善が図られています。一方で、職員自身の新型コロナウイルス感染症への罹患もしくは濃厚接触者となることでの就業制限により、臨床現場では人員不足による過重労働、安全確保、ストレス過多、メンタルヘルス等の問題が浮き彫りとなっています。そのため、各施設における感染管理におけるBCPの策定、見直し等が急務であると言えます。



突撃

11月11日のお昼ご飯

# これが私のリアル飯



アンケートでみなさんからのリクエストが多かった料理を新企画でシリーズ化していきます。  
第1弾は2022年11月11日のお昼ご飯を紹介します。



夫が釣ったカレイを、夫がから揚げにしてお弁当を作ってくれました♡  
(編) ウラヤマシイ...

ダムカレー...  
でもまだ足りません!!!



ザ・タンパク質!  
ダイエット中のお弁当です。

パン♡LOVE



野菜をたくさんヘルシーに。  
柿で季節感を。



ザ・パワー弁当です。いつも夜に作ります。  
ビタミン不足と言われたのでフルーツを...。  
隣に置きました(笑)



普段の何気ないお弁当。夕飯の残りを詰めて、みかんをつけてみました。



11月11日  
何の日???







# 仕事をしていて、**こころ**に残った一言



医療法人社団 筑波記念会 筑波記念病院 吉村 真衣

『まいちゃん、ここにいて。』

他院で治療を行っていた50歳代女性が、治療効果が得られず自ら緩和ケアを望み当院に入院した。とにかく、苦しくなく痛みなく過ごして最期の時を迎えたいと希望されていた。薬剤調整で症状緩和は図れていたが、急な臓器破裂により強い症状が出現した。その時に、私の名前を呼びながら『ここにいて。』と言われ、ベッドサイドで付き添った。患者さんは『手を握って。ありがとう。』と息を引き取った。患者さんの望む最期の時を作ってあげられなかったと思うけれど、辛いなか自分を頼ってくれたことに驚きと、そばにいることの大切さを痛感した。患者さんが辛い時に名前を呼んでくれる看護師でいたい。

## いばらき看護職合同進学・就職説明会が開催されます

- 開催日時 令和5年3月4日(土) 11:00～15:30
- 開催場所 つくば国際会議場 〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3
- 内 容
  - 第1部 11:00～12:00 【国家試験対策講座】  
講師 さわ研究所 小寺 豊彦 氏
  - 第2部 12:30～15:30 【合同進学就職説明会】  
◆参加ブースによる職場紹介及び学校紹介  
◆進学・就職相談(茨城県ナースセンター) 等

### ○ブース参加

注) 都合により参加施設等の変更の場合がございます。茨城県ナースセンターホームページでご確認願います。

### 【施設・訪問看護ステーション】

茨城県西部メディカルセンター	水戸中央病院	牛久愛和総合病院	筑波学園病院
筑波記念病院	総合守谷第一病院	友愛記念病院	JA 茨城県厚生連
水戸ブレインハートセンター	栗田病院	小山記念病院	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター
いちほら病院	つくばセントラル病院	水戸済生会総合病院	北茨城市民病院
牛尾病院	取手北相馬保健医療センター 医師会病院	龍ヶ崎済生会病院	茨城東病院
城西病院	久慈茅根病院	水戸赤十字病院	筑波大学附属病院
茨城リハビリテーション病院	聖麗メモリアル病院	霞ヶ浦医療センター	茨城県立医療大学附属病院
茨城県立こころの医療センター	東京医科大学茨城医療センター	ホスピタル坂東	神栖済生会病院
みやざきホスピタル	メドアグリクリニック	筑波メディカルセンター病院	さくらい眼科
セントケア訪問看護ステーション石岡	訪問看護ステーションふうりん		

### 【看護師等養成機関】

土浦看護専門学校	茨城キリスト教大学	土浦協同病院附属看護専門学校	宮本看護専門学校
東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校	常磐大学・常磐短期大学		



### 問い合わせ先

公益社団法人茨城県看護協会・茨城県ナースセンター  
TEL 029-221-7021  
茨城県ナースセンターホームページ  
<https://www.ibaraki-nc.net/>

# 准看護師に関する実態調査報告



調査目的：准看護師の業務や処遇等に関する実情を把握し、本会事業の推進や関連団体等への政策・要望活動を行うための基礎資料の収集を目的としています。

調査日時：令和4年10月3日（月）～ 令和4年10月31日（月）

調査対象：令和4年度茨城県看護協会員 准看護師資格登録者 929名

調査方法：質問紙による選択式（一部記述式）

有効回答数：235名

## 1 現在の勤務先

種別	人数
①病院（～99床）	32
②病院（100～499床）	135
③病院（500床～）	5
④診療所	20
⑤老健	15
⑥特養	6
⑦介護系事業所	6
⑧訪問看護	8
⑨現在勤務していない	4
⑩その他	4
計	235

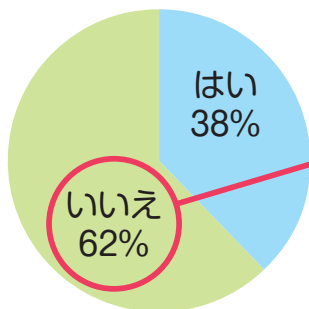
## 2 准看護師を選んだ理由【複数回答】（n=235）

理由	人数（割合）
①資格取得にかかる費用	56（23.8%）
②資格取得にかかる年数	48（20.4%）
③試験の難易度	31（13.2%）
④働きながら資格取得ができる	150（63.8%）
⑤その他	39（16.6%）

※その他の理由

- ・すぐに働きたかった（生活資金を得るため）
- ・家庭との両立ができる
- ・看護師国家試験に合格できなかったため
- ・看護専門学校を受験したが不合格であった。早く資格を取りたかった。
- ・結婚して子供がいたから
- ・高校の先生の勧め
- ・入職した際に看護の長に「准看護師だけで良い」と言われた

## 3 現在の自身の処遇に満足しているか（n=229）



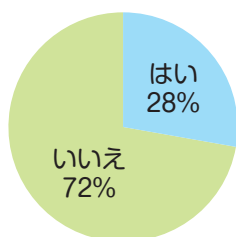
### 3-1 処遇に満足していない理由（n=143）

理由	人数（割合）
①賃金が安い	126（88.1%）
②昇進の機会がない	25（17.5%）
③スキルアップの機会が無い（与えてもらえない）	23（16.1%）
④看護師と業務が区分されていない	73（51.0%）
⑤医師や上司に自分の意見を聞いてもらえない	12（8.4%）
⑥その他	20（14.0%）

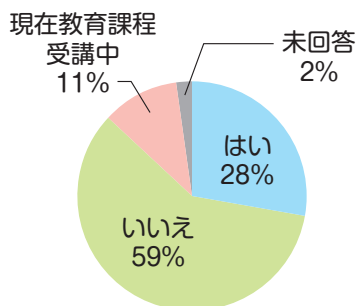
※その他の理由

- ・准看護師だからと下に見られているが、仕事内容は全部一緒
- ・正看護師と同じ知識・技術を求められる
- ・准看護師は低賃金で雇える都合の良い職種であると感じる
- ・介護業務を行うことがあるが、処遇改善手当は対象外とされている
- ・奨学金の額が少ないので看護師資格取得の際に自己負担が大きい

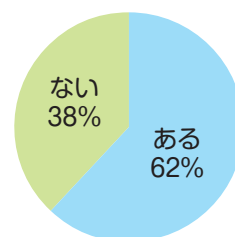
## 4 看護師との役割分担・業務範囲は明確になっているか（n=226）



## 5 今後、看護師資格の取得を考えているか（n=235）



## 6 現在の職場で看護師資格取得にあたり奨学金制度はあるか（n=221）





# 選挙管理委員会からのお知らせ

## 令和5年度改選役員、推薦委員及び 令和6年度日本看護協会代議員・ 予備代議員への立候補について

選挙管理委員長 卜部 博子

令和5年6月16日（金）に開催される通常総会（会場：ザ・ヒロサワ・シティ会館※茨城県立県民文化センター（予定））で、令和5年度改選役員、推薦委員及び令和6年度日本看護協会代議員・予備代議員選挙を執行しますので、「立候補」と「推薦」についてお知らせいたします。

### ■改選役員の職名及び人数並びに代議員等の定数

- 1 理事 11名（任期：理事2年）  
会長1名、副会長1名、常任理事1名  
職能担当理事2名（保健師、助産師）  
地区担当理事5名  
（常陸太田・ひたちなか、土浦、つくば、筑西・下妻、古河・坂東地区）  
准看護師理事1名
- 2 監事 1名（任期：監事4年）
- 3 推薦委員 9名（任期1年）
- 4 令和6年度日本看護協会代議員7名、予備代議員7名（予定）

### ■立候補の方法

立候補される方は、本会会員5名以上の推薦を受けて、立候補届出書及び立候補者推薦届を選挙管理委員長あてに届け出て下さい。

※立候補届出用紙等は、本会ホームページからダウンロードするか、茨城県看護協会事務局に申し出て下さい。TEL 029-221-6900

### ■宛先（提出先）

〒310-0034 水戸市緑町3-5-35  
公益社団法人茨城県看護協会 選挙管理委員長 卜部 博子（親展）あて

### ■受付期間（届出期間）

令和5年2月1日（水）～2月14日（火）必着 郵送の場合は当日消印有効

## ◆◆◆◆◆ 令和4年度理事会報告 ◆◆◆◆◆

## ■第4回理事会 令和4年10月21日(金)

## 【協議事項】

- 1) 茨城県看護協会育児・介護休業等に関する規程の改正(案)について 承認

## 【報告事項】

- 1) 日本看護協会令和4年度第4回理事会報告(9/30)
- 2) 助産師職能担当事辞任に係る代行について(暫定措置)
- 3) 令和4年度地区意見交換会について
- 4) 全国職能委員長会(9/8)報告
- 5) 常務理事会(10/21)報告



## ■第5回理事会 令和4年12月16日(金)

## 【協議事項】

- 1) 令和4年度重点政策・重点事業(案)について 承認
- 2) 事業報告(4月~9月) 承認
- 3) 上期監査報告 承認
- 4) 予算執行状況について 承認
- 5) 令和5年度見込み会員数(案)について 承認
- 6) 令和5年度日本看護協会長表彰候補者の推薦(案)について 承認
- 7) 令和5年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦(案)について 承認
- 8) 看護小規模多機能型居宅介護事業所絆(兼訪問看護ステーション絆)管理者について 承認
- 9) 茨城県看護協会倫理審査委員会(案)の選任について 承認

## 【報告事項】

- 1) 日本看護協会令和4年度第5回理事会報告(11/24、25)
- 2) 令和5年度予算・政策に関する県への要望について
- 3) 日本看護協会地区別職能委員長会報告(10/28)
- 4) 地区意見交換会報告
- 5) 都道府県看護協会広報担当役員会議(11/10)

株式会社 日東様・株式会社 常陽銀行様より  
寄附金をいただきました

株式会社日東様・株式会社常陽銀行様より、本会へ寄附がございました。

なお、令和4年12月8日に本会理事会室において、寄附金贈呈式を執り行いましたことを報告いたします。

○寄附金額 300,000円

編集  
後記

明けましておめでとうございます。

と言っている間に1か月が過ぎ、2023年最初の「看護いばらき」が皆さんのお手元に届くころには、もう2月もすぐそこですね。

2月といえば節分、節分といえば恵方巻き。恵方巻きは「福を巻き込む」と言われています。2023年の恵方は南南東です。感染対策で緊張の日々ですが、この日はちょっと違う「黙食」で福を巻き込みたいですね。

今年の看護いばらきは「食」をテーマにお届けする予定です。今回は、皆さんのお昼ご飯をご紹介しましたが、いかがでしたか？次号では「〇〇のお昼ご飯」に突撃予定です。お楽しみに！

広報委員